

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	吉野 希	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	パリ東＝クレティユ大学		
国・地域	フランス・クレティユ		
派遣期間	2024 年 9 月	～	2024 年 12 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
History of Globalization	経済のグローバリゼーションの歴史について。グローバリゼーションとは何かからグローバリゼーションが起こっていく中で起こる不平等について学ぶ。
Development Economics	発展途上国の発展過程での政府や民間の活動について学ぶ。インフォーマルセクターについて。
Game Theory and Public Economics	ゲーム理論の方法論を経済学に結び付けて学ぶ。囚人のジレンマやナッシュ均衡、シュケッタルベルク均衡など。
International Monetary Problems	国際通貨について。為替レートやそれはどのように決まるのか、またその問題点などについて学ぶ。

留学レポート(1,500 字以上)

クレティユはパリまでメトロの Creteil Universite 駅から 1 本で、場所によって 40 分から 1 時間くらいで行くことが出来るので便利です。キャンパスのすぐ近くにメトロステーションやバス停があります。学校の周辺は人通りが多いので平日や日中は安心でした。しかし休日や夜は人が減り、ホームレスの方についてこられたこともあったので、人が少ない時は注意しながら早歩きするようにしていました。私はフランスの生協のようなものである CROUS の寮に住んでいました。建物はキャンパスの中にあり、1 人部屋の人と 2 人部屋の人がいます。私は日本人のルームメイトと 2 人でした。キッチンとトイレは共同で、それぞれ個室にシャワーと洗面台があります。ルームメイトは同じ国や地域から来る人でまとめられているようです。ガス代と水道代は家賃に含まれていますが、電気代は含まれていませんでした。入居してから 1 週間ほどで電気がつかなくなり、確認したところ電気は自分で電話をして契約しなければならなかったようです。寮には管理人の方がいますが、今回の電気代の件では「私には分からないから CROUS の本部に電話をして」と言われたり、本部の方には「寮の管理人が電気会社に直接電話して」と言われたりしたので、CROUS の中での意思疎通が計れていないような感じがして大変でした。家賃と電気代はフランスの銀行口座から引き落とされるので、到着してから早めに口座を開くと安心です。寮の部屋は広いですが、火災探知機やカーテンが落ちてきたりしたので、ちょっとした不具合は多かったように感じました。机やベッドがありましたが、トイレトペーパーホルダーがないことが衝撃でした。また、電子レンジがなかったことが不便な点でしたが、鍋やかトラリー、食器、湯沸かしポットはいただくことが出来たので湯煎で温めていました。CROUS の方は英語を話せないことが多いです。

私が留学した秋学期はフランスでは学年の始まりだったため、フランスでの生活に慣れるためのサポートが充実していたように感じます。授業が始まる前の期間には、フランスに到着してからの手続きについて、分からないことがあれば相談しに行けるブースを設けてくださいました。また、スポーツイベントやパーティなど他の学部や学年の人たちとも交流する機会がいくつか設けられていたため、積極的に参加すると友達が作りやすかったです。

授業は、私はもともと経済を専門として学んでいなかったので難しく感じてしまいました。History of Globalization と International Monetary Problems ではプレゼンテーションがありましたが、その他は先生からのレクチャーが中心の授業で、グループワークやディスカッションはあまりありませんでした。プレゼンテーションは

ペアかグループで行われ、一人でやることはなかったので、クラスメイトと仲を深めるきっかけになりました。授業はすべて英語で受けていましたが、先生方の英語はフランス語の訛りが強かったり、先生やクラスメイトの文字は筆記体なので、それらに慣れていない私にとって苦勞した部分がありました。板書をしない先生もいますが、少し筆記体に慣れてから授業に臨むと授業についていきやすいと思います。経済の専門用語が多く、私的には日本語でも理解することが難しいような単語もありました。そのため経済の知識も持ってから行くと、留学中の苦勞が減るかもしれないと思いました。先生の都合で急遽日程が変更されたり、授業がキャンセルになることもあったので、学校の時間割システムで授業が始まる直前まで確認したり、友達に聞いたりしていました。授業1コマは2時間から3時間のものが多かったですが、途中必ず1度は、先生のタイミングで休憩時間が10分から20分程ありました。キャンパス内にはCROUSの食堂があり、1食3€くらいで昼食を食べることが出来ました。日によって当たり外れがあり、現地で暮らしている学生にとってもCROUSのご飯は好き嫌いが分かれていましたが、サラダとヨーグルトなどのデザート、メインのおかずと主食が食べられるので、健康的に食べたいときやお金を節約したいときはとても良かったです。朝は1€くらいでクロワッサンやパンオショコラも販売しているそうです。大学の近くにはスーパーマーケットや中華料理やハンバーガーレストラン、パン屋もあるので便利です。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



メトロから出たすぐのキャンパス



CROUS の屋食



マルシェ



ちゃんぽんと天丼



クリスマスツリー